# 令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立広瀬小学校		
作成日	令和5年3月7日		

### 教育目標

## たくましく豊かに行きぬく子を育てる

2 学校自己評価についてのご意見					
	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校	
指標	・「自分の考えを発表しようと している」…児童90% ・わかる授業、子供主体の授 業を実践した…児童・教師90%	<ul><li>・学校が楽しいと感じる…児童90%</li><li>・いじめの把握と解消率…100%</li><li>・月1回の「広瀬の子」</li><li>・学期1回以上の校内委員会の実施</li></ul>	<ul><li>・たてわりグループによるなかよし活動の実施…毎月1回以上</li><li>・給食後の歯磨き…児童100%</li><li>・避難訓練の実施…年3回</li></ul>	・学校の様子がよく伝わった …保護者90% ・中学校区で接続、連携した 取組を具体的に実践できた …教師90%	
意見重点目標に対する	これまでと同様に教科の学習だけでなく特別活動や道徳の学習でも思考力や表現力を育てる取組を続けてほしい。将来を生きる子供たちに必要な力は、学校生活全体で育っていくものだと思います。	広瀬の子供たちの優しさを ベースに、豊かな心を育てる ことはこれからの時代にとても 大切なことです。アフターコロ ナの中で、以前のような異年 齢の児童が仲良く思いやりの 心をもって学校生活を送る取 組をお願いしたい。	これからの社会を生きぬくためにより良い生活習慣を身に付け、自分の生活に目を向けられるようになることはますます必要です。また、体力の向上にも積極的に取り組んでください。	広瀬地区では、学校やPTA、地域の各種団体や自治会等が一緒になって取り組む機会が年間を通して数多くあり、地域の中で子供が育っている。コロナ禍で地域との連携の機会を持つことが難しかったが、見守り隊等活動している方々とは綿密なコミュニケーションをとることが重要です。	
意見取組状況に対する	子供たちが自分の考えと友達 の考えをどちらも大事にしな がら物事を決めて進めていく 力はこれからの子供たちに必 要な力です。様々な学習の場 面を通じて考える力をつけて ほしい。		コロナ禍で子供たちの体力が かなり落ちているのではない かと思っている。子供たちの体 力を元に戻し、さらに体力を向 上させる取組をお願いしたい。	今年度は例年のような行事が実施できず残念でしたが少子化傾向の中で、これからも、地域が一丸となって子育てを支援する必要がある。	
に対する意見取組の適切さの検証結果	える力が必要であることから、 読書の機会を持つことは非常 に大切です。家庭や学校での 読書活動の推進、及び学校 図書館の有効活用が必要で す。	動や運動会でも子供たちが笑顔で過ごしており、異年齢の子供たちが仲良く楽しそうに過ごしている姿が見受けられた。掃除についても、たてわり活動を取り入れてみてはどうか。	行動することを身に付けさせてほしい。また、家庭との連携で、早寝、早起き、朝ご飯の取組を続けるとともに、コロナ禍で低下した体力の向上にも努めていただきたい。	は、地域と学校をつなぐ大切な活動です。地域は、学校の取組を知り、学校を応援しようとしている。その中で、子供たちも地域の一員であることが実感できていると思います。	
改善方法に対する意見次年度に向けての	取組を進めてください。 これからの社会を子供たちが 自分の力でしっかりと生きる ために、自分で考えて人と力	を長年続けていることも、子供 たちの心の安定につながって いるのだと感じます。 児童一人一人の様子に合わ せたきめの細かい指導に今後	い等家庭と連携した取組に取り組んでください。また、地域と 協働した実践的な避難訓練等	中で、子供たちも広瀬地区の 子供であることを実感し、落 ち着いて成長していると思い	

3 その他のご意見 子供や保護者へのアンケートの結果から、概ね学校に対し好意的に見ていただいていると感じる。これからも、保護者との連絡・連携を密に学校運営に取り組んでください。